

第3グループロータリー奉仕デー 「カンボジアまごころ お届けプログラム」報告

2021～22年度
第3グループ・ガバナー補佐

棕梨 兼彰
(藤沢RC)



第2780地区第3グループ「ロータリー奉仕デー」の活動が、3月10日(木)藤沢市秩父宮体育館で行われました。約1年前、田島透ガバナーから2021-22年度は従来行われていた「IM」を行わず、地区内の10グループそれぞれが一丸となり人道的奉仕(戦争防止と平和、疾病予防、水と衛生、母子の健康、基礎的教育の充実、地域経済の発展、環境保護)に関連した奉仕を実施するよう提唱され、「ロータリー奉仕デー」として活動することを伝えられました。

今年度担当クラブの藤沢南ロータリークラブ(新井智代会長)に実行委員会を設置し、阿部剣朗実行委員長を中心にどのような奉仕をするのか色々議論が始まりました。そこで藤沢南ロータリークラブが従来行っていた中高校生が学校で使って不要になった上履き(体育館履き)をクリーニングして必要とする地域へ送る活動を、バルセロナ・アトランタオリンピックでのメダリスト有森裕子氏が代表を務めるNPO法人ハートオブゴールド(以下HG)を通じてカンボジアに送る奉仕事業にしてはどうかという案が出て、会長幹事会により「カンボジアまごころお届けプログラム」と正式に決定して始まりました。初めは上履きということで考えていた所、実際のカンボジアのニーズに合うのか改めてHGに確認してサッカーシューズと運動靴、最近のコロナウイルス感染拡大において固形石けん、タオル(新品)の不足を聞き今回このラインナップで集める事を決定し、第3グループ各クラブ会長幹事による藤沢各中学校への担当を決め趣旨説明を行い理解を得て進めら

れました。2月12日(土)にはHG代表の有森裕子氏の講演会「スポーツと教育を通じてカンボジアの人々の自立を寄与する」と親睦会も予定されておりましたが、この時期に新型コロナウイルスオミクロン株の急速な感染拡大が起こり、各都道府県に蔓延防止等重点措置が発令され残念ながら中止が決定されました。実行委員会でこの様な状況で何かできないかと考え、蔓延防止等重点措置中ですが感染対策を考慮して集めた物を集計して梱包して送り出すことを3月10日(木)に行うことになりました。人数はあまり集められないので各クラブの会長幹事を中心に関係者を含めて行いました。靴の状態も非常によくクリーニングされており驚きました。送ることがわかっているので子供たちも踵を潰して履くこともせずきれいに使うと聞いたときは教育に役立つこともあると思いました。当日は田島透ガバナーにも参加して頂きこのような写真を撮ることができたのをうれしく思います。

この活動で集まった物の総数はサッカーシューズ・運動靴622足、タオル1548枚、固形石けん1542個、ジャージ5枚。合計段ボール(200サイズ)39箱も集まりました。

この場をお借りしまして今回の活動への後援をいただいた藤沢市、藤沢市教育委員会、藤沢商工会議所、藤沢商工会議所女性会、一般社団法人藤沢青年会議所の皆様、その他各団体、藤沢市民の皆様のご協力に深く感謝しお礼申し上げます。ご報告させていただきます。

